

総会講師、宮原^{たかし}巍さんを囲んで！（6月15日）

6月中旬、ネパールから「ヒマラヤのドン・キホーテ」として著名な宮原巍さん(50期)が来日した。ご存じの通り、宮原巍さんは7月1日開催の関東同窓会総会で講演をしてもらう方だ。

6月15日(金)の夜、総会実行委員長のこちらも宮原豊君(9組)が、巍さんを伴って同期の飲み会会場にやってきた。たまたまその日は、同期何人かが、新橋の巍さんの会社(ヒマラヤ観光開発株)の近くの店(居酒屋「はつ花」)に集まっていた。

両宮原氏(巍さんと豊君)は青木村の出身である。

今年の初め、総会での講演のお願いをしたところ、豊君と同郷の誼でご快諾いただいた。

総会では、「ネパール半世紀の変遷」と題する話をしてもらう予定である。

現在、同窓会事務局に届いている総会出席の返事には、巍さんの話を楽しみにしているという同窓生が多いと聞いた。

当日の飲み会は、今般、65期ホームページ(HP)の立ち上げで汗をかいてくれた原田義則君(3組)の慰労を兼ねたもので、宮原豊君のほか沓掛文夫君(3組)、丸山暢久君(4組)、上原昇(2組)が参加した。当夜、巍さんは乾杯の後、ひとしきり懇談され早々に席をたたれたが、総会に先駆けて、巍さんのお話を聞くことができ大変有意義な夜となった。

(2012年6月19日、上原記)



【写真説明】

前列左から、
沓掛、宮原巍
さん、原田
後列左から、
上原、宮原豊、
丸山